

記者資料提供 (2023年5月17日)

デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) 加藤、大泉

TEL | 078-325-2235 FAX | 078-325-2230 E-mail | info@kiito.jp



# KIITO:

商店街の空き家問題に向き合う  
「+クリエイティブゼミ リサーチャー養成編」開講

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)」では、社会貢献活動の活性化や創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおりゼミを開講いたしますのでご案内いたします。

## +CREATIVE SEMINAR vol.39

リサーチャー養成編

### リサーチ・リテラシーを学ぶ 例題4: 商店街の空き家をみんなで考える。



デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) では、+クリエイティブゼミvol.39 リサーチャー養成編「リサーチ・リテラシーを学ぶ 例題4: 商店街の空き家をみんなで考える。」を開講します。

本ゼミは、2022年度より神戸市長田区を対象エリアに、「空き家」をテーマとして実施したリサーチゼミの第2弾となります。全国的に増え続ける空き家は、神戸のまちにおいても大きな課題となっています。終わりの見えない空き家問題は、一時的な対処療法ではなく、地域の理解や提案が必要なのではないでしょうか。大阪大学 CO デザインセンターの山崎吾郎氏を講師に、フィールドワークに重点を置く「文化人類学」の観点から「リサーチ」にフォーカスし、その手法を学びながら、これからの商店街のあり方や地域のつなぎ方など、商店街の空き家問題について参加者と一緒に考えていきます。

#### 【開催概要】

+クリエイティブゼミvol.39 リサーチャー養成編「リサーチ・リテラシーを学ぶ」

例題4: 商店街の空き家をみんなで考える。

日時: 2023年6月20日 (火) ~7月25日 (火) 毎週火曜日 19:15~21:15 全6回

フィールドワーク: 2023年6月24日 (土) 午前予定

場所: デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) 3F 303

※フィールドワークのみ長田区エリアでの開催となります。

講師: 山崎吾郎 (大阪大学COデザインセンター 教授)、永田宏和 (デザイン・クリエイティブセンター神戸 センター長)

対象: 原則として全日程参加可能な方、リサーチや空き家問題などに興味関心のある方など

定員: 25名程度 (事前申込制、先着順) 参加費: 無料

申込期間: 2023年5月17日 (水) 14:00から6月13日 (火) Webサイト (<https://kiito.jp/>) にて申込受付開始

主催: デザイン・クリエイティブセンター神戸

お問合せ | デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

住所 | 兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4

開館時間 | 9時~21時 休館日 | 月曜 (祝日または振替休日の場合はその翌日)

WEB | <https://kiito.jp/>

## 講師コメント

「空き家」はいまや、日本全国でみられる社会問題です。しかしながら、それがどういう意味で「問題」なのかは、必ずしもはっきりしているわけではありません。「こうすればうまくいく」という決まった答えが用意されているわけでもありません。だからこそ、問題とその答えを、自分たちの手で探し出していくためにリサーチをしてみましょう。今回のテーマは商店街の空き家です。商店街はどんな場所なのか、またどんな場所であってほしいでしょうか。リサーチを通して、地域や人とのつながり方を（再）発見し、そして社会のあり方を考え直すきっかけができればと思います。—山崎吾郎

KIITO ではこれまで継続的に「空き家」の問題に取り組んできました。昨年度のリサーチゼミでも長田区の特定の地域の空き家を対象に「空き家問題」を様々な角度から検証し、活用策の検討を行いました。今年度のリサーチゼミでも引き続き長田区役所と連携し、長田区内の商店街の空き家を対象にしたゼミを開講します。今年度のゼミでは空き家と地域に加え、商店街が抱える問題などにもアプローチしたいと考えています。今回のリサーチゼミに関してはKIITOとして相当の決意で臨み、リサーチからアクションに繋げ、皆さんと考え、企てたアクションプランの実現、効果の検証まで行いたいと考えています。ぜひ奮ってご参加ください。—永田宏和

## 講師プロフィール



山崎吾郎（大阪大学COデザインセンター 教授）

1978年生まれ。大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得退学、博士（人間科学）。専門は文化人類学。主な仕事に『臓器移植の人類学：身体の贈与と情動の経済』（単著、世界思想社、2015年）、『やっかいな問題はみんなで解く』（共編著、世界思想社、2022年）、『構造と自然：哲学と人類学の交錯』（共編著、勁草書房、2022年）などがある。



永田宏和（デザイン・クリエイティブセンター神戸 センター長）

1968年兵庫県生まれ。企画・プロデューサー。1993年大阪大学大学院修了後、大手建設会社勤務を経て、2001年「iop都市文化創造研究所」を設立。2006年「NPO法人プラス・アーツ」設立。2012年8月よりデザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）の副センター長、2021年4月よりセンター長を務める。主な企画・プロデュースの仕事に、「水都大阪2009・水辺の文化座」「イザ！カエルキャラバン！（2005～）」「地震EXPO（2006）」「ちびっこうべ（2012～）」「EARTH MANUAL PROJECT展（2013～）」などがある。

## 過去の+クリエイティブゼミの様子

- ・+クリエイティブゼミvol.34 リサーチャー養成編「リサーチ・リテラシーを学ぶ」例題2：With／Postコロナ社会のライフスタイルを考える
- ・+クリエイティブゼミvol.37 リサーチャー養成編「リサーチ・リテラシーを学ぶ」例題3：空き家をじっくり考える。



ゼミの様子



グループワークの様子



最終発表の様子